

いがらし まや

ユニセフで働く人 五十嵐ウッド麻耶さんへのインタビュー

日本ユニセフ協会の海外インターン派遣事業により、2012年4月から7月の約3か月間、ユニセフ・エチオピア事務所に派遣された五十嵐ウッド麻耶さん。インターンシップ後、外務省が行っているJPO（Junior Professional Officer）試験に見事合格し、現在はタイにあるユニセフの東アジア太平洋地域事務所で緊急支援および減災・防災対策に携わっています。ユニセフで働くまでの道のりと、現在のお仕事のこと、国際公務員を目指す若者へのメッセージを伺いました。



©Maya Igarashi-Wood 現在のオフィスにて

Q 日本ユニセフ協会の海外インターン派遣事業に応募したきっかけを教えてください

A 小さい頃から高校まで水泳を習っていたこともあって、水はあるのが当たり前、という環境で育って来ました。大学時代に西アフリカのブルキナファソを訪れた時に、毎朝早くに遠くまで水くみに行き、頭に上手く乗せて運んでいる子どもや女性たちの姿に強い衝撃を受け、初めて水の貴重さを実感しました。その後、大学院で環境開発の分野を専攻し、将来の仕事として考えていく中で、国連の数ある機関の中でユニセフが水・衛生分野の状況改善の主導を担っていることを知りました。

キャリアセミナー等で、国連職員になるにはまず、インターンシップを通して国連職員の生活や仕事を学ぶ事が重要であり、実際の採用時にもその経験が評価されることを知りました。しかし、国連での世界中の大学院生を対象として行われているインターンシップ事業は、通常、応募から派遣まで1年以上かかることも多くあります。それに対して、日本ユニセフ協会の海外インターン派遣事業は対応も迅速でサポートも充実しているので、本企画に応募しました。

Q 海外インターンをしてよかったことはなんですか？

A ユニセフがエチオピア政府と一緒に、どのように国民の水の確保やトイレと手洗いの普及を進めているのかを学ぶ、大変良い機会になりました。また、国の政策が現地でどのように実践されているかを、自分の目で見たり、関係者や住民と話をすることで直接感じることができたのが大きな経験となりました。



©Maya Igarashi-Wood
ユニセフ・エチオピア事務所の同僚と

Q 海外インターンが終了してから、現在の仕事に就くまでを教えてください

A 海外インターンの派遣直前にJPO派遣候補者選考試験に応募し、一次試験に通過していました。インターン終了後に行われた面接試験では、インターンシップで得た知識と経験も伝えることができ、合格に繋がったと思います。JPOの赴任までは当時在住していた英国で、国際NGOのコンサルタントとして、緊急支援時の水・衛生分野の支援団体／組織の能力強化と、評価に携わっていました。

Q 今の仕事の内容と、やりがい・困難なことは何ですか？

A 14のユニセフ現地事務所をまとめる地域事務所、災害や紛争への対策サポートと現地事務所間の情報・経験共有を促進する仕事をしています。東南アジアは元々、台風や地震・洪水等の災害が発生しやすい地域であることに加え、昨今の気候変動に伴った災害の規模の悪化が懸念されています。緊急支援の中で水・衛生分野が担う役割は特に大きく、最大限に備える対策を講じる今のような仕事は昨今重要性が増しています。各分野の枠を越えて、減災・防災という立場から幅広く関わるといふ点では、大変やりがいを感じる一方で、幅が広いからこそ、全てを把握し、各分野の専門家や団体を同じ目標に向けて同時に促すことは容易ではありません。

Message 国際公務員を目指す若者へメッセージ

興味のあることは、ためらわずに現場に行って実際に挑戦してみてください。視野を広く持って、一步一步進んで行くこと。そして強い志があれば、きっと夢は現実になります。



©Maya Igarashi-Wood
聞き取り調査で訪れたエチオピアの村の人々と

五十嵐ウッド麻耶さん プロフィール

1984年生まれ 福岡県出身
2008年 大阪大学（旧大阪外国語大学）フランス語学科卒業
2008-2010年 青年海外協力隊（村落開発普及員：環境衛生分野）としてブルキナファソへ派遣
2012年4-7月 日本ユニセフ協会海外インターン事業でユニセフ・エチオピア事務所、水・衛生部署派遣
2012年 英国イーストアングリア大学大学院にて環境開発修士号取得
2012年9月-2013年1月 Action Against Hunger (ACF) UK (NGO) でコンサルタントとして、緊急支援における水・衛生分野の能力強化に従事
2013年4月-現在 ユニセフ東アジア太平洋地域事務所JPO（Junior Professional Officer）として緊急支援および減災・防災担当
11月に台風ハイエンがフィリピンを襲った際には、被害の状況や備蓄支援物資に関する情報収集に奔走し、各担当とのミーティング、世界に向けてのメッセージ配信等に尽力

*五十嵐さんはじめ海外インターンとしてユニセフ現地事務所へ派遣されたみなさんの体験記は下記URLよりご覧いただけます。
http://www.unicef.or.jp/inter/inter_exp.html